

➤ 会議次第「2あいさつ」

発言者名	発言要旨
<p>学識経験者</p> <p>小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回は基本構想の骨子案について議論いただき、意見をいただいたところである。今回はその意見を踏まえ、骨子案への加筆修正を検討し、リニア駅周辺整備基本構想の素案が提示される。</li> <li>・ これまでと同様、忌憚のないご意見を頂戴したい。</li> <li>・ 今後の段取りであるが、素案をもとにパブリックコメントが予定されており、それを経て庁内で検討し成案とすることになる。</li> <li>・ また基本構想を受け、基本計画、整備計画と具体化を図っていく。</li> <li>・ 今回の基本構想は、そのための指針ともいえるべき重要なものである。</li> <li>・ 前回同様、本日の資料は各委員に事前配布されていると伺っている。事前にお目通しをいただいている中ではあるが、事務局より説明をいただき、活発に議論をいただきたい。</li> <li>・ 本日は基本構想の策定に向けて、大筋の内容を固めてまいりたい。ご協力のほどよろしくお願ひしたい。</li> </ul>
<p>飯田市</p> <p>佐藤委員 (飯田市副市長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は大変忙しいところまた、お寒い中お集まりいただき感謝申し上げます。また、それぞれの立場で日頃から、市政につき、尽力、ご協力をいただいていることに関してこの場をお借りして心から感謝を申し上げます。</li> <li>・ 今回は基本構想の素案について議論をいただくことになる。</li> <li>・ 当地にリニア駅が出来るに当たり、色々な物事を進めていく上で、国土のランドデザインの中で当地域がどのような役割を果たすべきかということと、具体的な整備にあたり影響を受ける方や地域への細やかな配慮、大きくこの2つのバランスが大事だと考えている。</li> <li>・ そういった考えのもと、私どもも検討を進める所存であり、委員の皆様にもそういった視野からご発言をお願いしたい。</li> <li>・ 基本構想は今後の取り組みのベースとなるため、委員の皆様におかれては忌憚のないご意見をいただき、またその後のパブリックコメントでは、市民住民の皆様からも意見を伺いながら、まとめてまいりたいと考えている。</li> <li>・ 本日はどうぞよろしくお願ひしたい。</li> </ul>

➤ 会議次第「3報告事項(1)～(2)」

発言者名	発言要旨
------	------

<p>長野県</p> <p>山岸委員 (飯田建設事務所長)</p>	<p>○資料1により説明</p> <p>➤ 『リニア関連道路整備事業の状況について』 第3回検討会議以降、リニア関連道路整備事業のうち「国道153号の飯田北改良」「リニア駅～座光寺SIC(仮称)の道路新設」に関して、平成27年2月に第2回地元説明会を開催した(事業ごとに各2回の計4回)。説明会では、国道153号に関しては現道拡幅を有力案として、またSICアクセス道路に関しては土曾川案を決定案として提示したところである。 今後は、年度内に第3回説明会を予定しており、これを経て、現在は約300mの幅をもって表現されているルート案をさらに絞り込みたいと考えている。また次年度は、そのルート案の調査・測量・設計に着手する予定である。</p>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<p>○資料2により説明</p> <p>➤ 『第3回リニア駅周辺整備基本構想検討会議の概要について』 検討会議における意見を、基本構想骨子における4つの基本方針ごとに整理している。こちらで前回会議の概要確認とする。</p>

- 会議次第「4協議事項(1)「リニア駅周辺整備基本構想」の素案について」
- 会議次第「4協議事項(2)リニア駅周辺整備検討に係るスケジュールについて」

<p>発言者名</p>	<p>発言要旨</p>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<p>○資料3により説明</p> <p>➤ 『素案作成にあたって』 第3回検討会議で討議された骨子をもとに、加筆修正を行い、素案とした。素案は事前に配布してあるため、加筆または修正点を中心に説明する。</p> <p>➤ 『第1章 はじめに』 位置づけや駅周辺整備の検討エリアなど、基本構想に係る基本的事項を整理している。</p> <p>➤ 『第2章 目指す姿と基本方針』 骨子と同じく「信州・伊那谷(ローカル)の個性で世界(グローバル)を惹きつけ、世界へ発信する玄関口(ゲートウェイ)」を目指す姿とする。また基本方針は、項目間の並び替えを行ったが、内容は骨子と同じく4つの柱として整理している。</p> <p>➤ 『第3章 実現に向けた取り組み』 4つの基本方針ごとの取り組みについては、基本的に骨子に沿っているが、資料2に示す意見を踏まえて表現を修正している。</p> <p>➤ 『第4章 構想の実現に向けて』 基本構想を今後具体化し、基本計画、事業計画としていくうえでの検討の進め方、検討体制イメージ、スケジュールについて、新たに整理している。</p>

	<p>○資料4により説明</p> <p>➤ 『リニア駅周辺整備に係るスケジュール』      今後は、今回の意見を勘案して基本構想（案）を作成し、パブリックコメントに付す予定で、その手続きを経て最終的な基本構想とし、再度検討会議に諮る予定である。</p>
<p>学識経験者</p> <p>小澤委員      (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすくまとめてあるが、内容は多岐にわたる。そのため章単位で議論する。</li> <li>・第1章についてはいかがか。        (⇒特段意見等なし)</li> <li>・特に意見がないため、事務局案どおりとする。</li> <li>・第2章についてはいかがか。        (⇒特段意見等なし)</li> <li>特に意見がないため、事務局案どおりとする。</li> <li>・第3章については基本方針の4つの項目ごとに議論する。まず、基本方針1「来訪者の移動を支援する高度なトランジットハブを形成する」についてはいかがか。</li> </ul>
<p>駅周辺地域関係者</p> <p>小平委員      (上郷北条まちづくり委員会会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針1の中に幾つかお願いしたいことがある。</li> <li>・地域住民案で話し合うなかで出された要望について伝えたい。</li> <li>・「効率的でコンパクトな交通広場と駅利用者利便施設を計画」するため、駅利用者利便施設の各種施設は高架下に配置してほしい。高架下空間と交通広場の両方に送迎スペースがあるのは無駄である。</li> <li>・3,000㎡という少ないスペースを有効活用するためにどの施設を入れたら良いのかじっくり検討して欲しい。</li> <li>・駐車場については、周辺の段丘地形を生かした整備をお願いしたい。</li> <li>・魅力発信施設はこの書き方からすると結局のところ市の考える繁華街を作らないということに反し、「小さな繁華街」を生み出してしまうのではとの懸念がある。適正な規模というものが明確に分からない。地元としては、多目的に利用できるイベント広場の設置を要望したい。</li> <li>・当地域の状況は過疎化が問題になっている。リニアが計画されることで移転を余儀なくされる住戸数は明らかではないが、おそらく100戸程度は移転せざるを得ないのではないかと思われる。全世帯が他地区へ移転することにより過疎化が進むのでは本末転倒である。</li> <li>・長野県からは、移転先住宅は自治体が斡旋するとの表明があったが、飯田市からはまだそういった考えが正式に示されていない。移転される方は心配している状況である。これに対してきちんとした形を示していただきたい。これらを踏まえてできるだけ北条地区内に住み続けられるような対応、例えば低層の集合住宅を整備するなどが必要では</li> </ul>

	<p>ないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、住み続ける上では、住みやすさ、防災面で配慮が必要である。アクセス道路や駅周辺の整備によって南北東西に地区が分断される。少しでも現在の生活が維持できるよう、生活道路の確保と地域コミュニケーション維持のための施設を要望したい。管理者である飯田市とJR東海とできちんと協議して欲しい。</li> </ul>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高架下の利用については引き続き検討したい。</li> <li>・駐車場については現在実施している地形測量の結果も踏まえて検討したい。</li> <li>・魅力発信施設については、駅前が寂しい空間にならないよう具体的な内容を今後検討したい。</li> <li>・生活道路の機能回復や移転先に関する検討は、市としても重要な課題と認識しているため、基本計画を検討するのに併せて具体的に考えてまいりたい。</li> </ul>
<p>学識経験者  小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅や駅前に必要な機能を出来るだけコンパクトに配置し、なるべく地域での生活が維持されるよう、また、移転を余儀なくされる人の希望もできるだけ踏まえるようにして欲しいとの意見である。</li> <li>・基本計画のなかで十分に検討する項目として、基本構想としてのまとめはこのままとさせていただく。</li> </ul>
<p>経済団体等関係者 公共交通事業者  中島委員 (飯田観光協会長／信南交通株式会社取締役社長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者の立場から 7,000 人という乗降者数設定には疑問を感じているが、ここでは蒸し返さない。</li> <li>・仮に 7,000 人とすると、ここで示されているような高度なトランジットハブ形成は極めて困難と言わざるを得ない。</li> <li>・リニアの運行ダイヤは決まっていないが、仮に 1 時間 1 本停車すると仮定すると 1 編成あたり約 100 人が駅に降り立って乗り換えることになるが、この人数を捌くだけのインフラがない。現状では交通難民が生じてしまう恐れがある。</li> <li>・交通事業者としては急にインフラを用意できないし、迂闊に投資もできない。もし失敗したら企業倒産につながる。オープントップバス等の記述もあるが、まずはリニア客を適切に移動できるための公共交通をどう確保するかが先決である。</li> <li>・その意味でも、在来線新駅との接続による鉄道との乗り換え利便性の確保は重要である。具体的な数字を踏まえ考えて行って欲しい。</li> </ul>
<p>学識経験者  小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者による独自のこういった視点は貴重である。十分に踏まえて今後具体的に検討する必要がある。</li> <li>・他に意見はあるか。 (⇒特段意見等なし)</li> <li>・無いようなら、基本構想としては事務局案で概ね理解が得られたと</li> </ul>

	<p>考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針2「駅勢圏の拡大に向け交通アクセス及びネットワークの強化を進める」についてはいかがか。</li> </ul>
<p>駅周辺地域関係者</p> <p>小平委員 (上郷北条まちづくり委員会会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田線乗換新駅については住民のほとんどが反対している。いまだJR東海とは協議を開始していないとのことだが、それを考慮しても市からの説明が不足している。</li> <li>・地元としては、飯田線乗換新駅を設置することによって移転家屋が生じないこと、アクセス道路は現道を利用することを要望したい。</li> <li>・現在リニア駅の計画地と飯田線とは直線距離で400m離れており、乗換利便性の向上を図るのは難しいだろうと思うが、地区としては先の2つの要望を上げさせていただきたい。</li> </ul>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の考えは十分理解している。</li> <li>・リニア駅と飯田線乗換新駅は一体で考える必要がある。どうすればスムーズに乗り換えが出来るかを検討し、関係者と協議調整していくつもりである。</li> </ul>
<p>学識経験者</p> <p>小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の具体的検討において、十分に今の意見を踏まえて欲しい。</li> <li>・他に意見はあるか。無いようなら、基本構想としては事務局案どおりとする。</li> <li>・基本方針3「信州・伊那谷らしさの感じられる風景づくりを進める」についてはいかがか。 (⇒特段意見等なし)</li> <li>・特に意見がないため、事務局案どおりとする。</li> <li>・基本方針4「信州・伊那谷ブランドを強化し発信する」についてはいかがか。</li> </ul>
<p>経済団体等関係者</p> <p>矢澤委員 (みなみ信州農業協同組合長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド化や6次産業化に触れられているが、その前に都会の人がもつ農業就業ニーズにどう応えるかのほうが先決である。実際に、定年退職を機に農業を始めたいという声も聞いている。そのことについても触れて欲しい。</li> <li>・就農者をどうやって引き込むかについて、もっと積極的に謳っていただけないか。</li> </ul>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討させていただきたい。</li> </ul>
<p>学識経験者</p> <p>小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の確保、受け入れ体制づくりについても、今後検討していく課題であろう。</li> </ul>

<p>駅周辺地域関係者</p> <p>小平委員 (上郷北条まちづくり委員会会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北条地区の土地の狭さを考えると、駅周辺の配置イメージにある「駅に近接して導入するか検討を要する機能・施設」は、北条地区以外への設置ということを要望したい。</li> </ul>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、検討していきたい。</li> </ul>
<p>長野県</p> <p>山岸委員 (飯田建設事務所長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季を通じた伊那谷の魅力をアピールするうえで、冬場をアピールするような写真も一つ入れてはどうか。伊那谷地域、春夏秋冬を通じて観光の魅力があるということを発信してもらいたい。</li> </ul>
<p>学識経験者</p> <p>小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真は検討しておいて欲しい。</li> <li>・他に意見はあるか。 (⇒特段意見等なし)</li> <li>・第4章についてはいかがか。</li> </ul>
<p>経済団体等関係者</p> <p>矢澤委員 (みなみ信州農業協同組合長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進め方のテーマとして農業振興も重要であり、記載しておいてほしい。行政と一体となった取り組みが必要な分野である。</li> </ul>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の検討において必要なテーマは、例えば、交通ネットワークの検討などここに示していないものもある。</li> <li>・農業を切り口とした検討もその1つであり、今後検討していく事柄であると認識している。</li> </ul>
<p>駅周辺地域関係者</p> <p>山田委員 (上郷まちづくり委員会会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は基本計画や整備計画を検討する段階に移るであろうが、今後とも地権者や地元ときちんと話し合いながら検討していくよう、要望したい。</li> </ul>
<p>飯田市</p> <p>佐藤委員 (飯田市副市長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改めて基本構想素案を見て、市民の参画についてはもっと意識的に加筆し強調した方がよいと感じている。</li> </ul>
<p>駅周辺地域関係者</p> <p>湯澤委員 (座光寺地域自治会会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「信州らしさ、伊那谷らしさ」は、リニア駅だけでなく、飯田市全体、あるいは関係者が一体となって取り組んでこそ発揮される。</li> <li>・多くの市民から意見を聞くことによって駅だけでなく周辺から離れた場所でも伊那谷らしさの感じられるような地域づくりにつながっていくというような、奥の深い展開を要望する。</li> </ul>

<p>学識経験者</p> <p>小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまのご指摘のようなアプローチは極めて重要であり、広域的に南信州全体、伊那谷全体について考えていくことが求められる。できるだけ多くの市民意見、特に将来を担う若者世代の視点は大切にすることが望ましい。</li> <li>・パブリックコメントをこの後実施するが、それ以外にも様々な機会をとらえて市民意見を集め、計画の具体化を進めて欲しい。</li> <li>・それでは基本構想素案全体を通じてのご意見をいただきたい。</li> </ul>
<p>駅周辺地域関係者</p> <p>鈴木委員 (長野県タクシー協会下伊那地方事務所長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味の問題かもしれないが、目指す姿において用いられている「ローカル」や「グローバル」はあえて必要だろうか。</li> <li>・「環境」「交流」については、具体的に何をするかを記述していかないと、飯田市らしさが薄れてしまう。</li> </ul>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタカナ表記は、語感や多世代に訴える意味を含めて入れている。</li> <li>・「環境」と「交流」は取り組み全体を貫く要素としているもの。なお、飯田市では、都会には無い魅力要素である景観、環境文化都市、リニアによる交流人口増加などを念頭に施策を進めていきたいと考えているところである。</li> </ul>
<p>学識経験者</p> <p>小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田市の「環境」はある程度ブランド化もされていて、飯田が環境という言葉を使うことに納得する人は多いだろう。他都市が「環境」と使うのとは違うレベルで理解してもらえないのではないか。</li> <li>・カタカナ表記については、例えば地方創世の議論においても、東京や名古屋といった大都市を介さずに、地方都市がそれぞれの個性をもって直接世界と交流を図るとの考えがあり、そういった意気込みを示した記述だととらえれば違和感は無いらしい。</li> </ul>
<p>経済団体等関係者 公共交通事業者</p> <p>中島委員 (飯田観光協会会長／信南交通㈱代表取締役社長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この構想は飯田市が策定するものであるが、基本にはより広域的な「伊那谷」というものがあると理解している。そういったスタンスを構想内の「信州・伊那谷」の位置づけ等においてより明確に打ち出しておいた方がよい。</li> <li>・市民が自分の住んでいる地域だけのことを考えてしまう可能性があるため、広域的な考えでリニアを飯田市は考えているということを謳ったらいいのではないかと。</li> </ul>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、内容について検討したい。</li> </ul>

<p>学識経験者</p> <p>小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の素案でも、指摘の内容はある程度記載されていると理解しているが、記載内容の充実について検討してみてください。</li> <li>・それでは学識経験者から、総括的な意見をいただきたい。</li> </ul>
<p>学識経験者</p> <p>大西委員 (日本経済研究所調査局長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回検討会議以降の短時間で基本構想素案をまとめられた事務局に敬意を表したい。また、検討会議においてはいつも、地元委員の皆さんからの確かな意見が多く出されるなど、真剣に地域のことを考えておられることが伝わってきている。</li> <li>・私からは以下の3点を指摘したい。</li> <li>・まず、パーク&amp;ライドの駐車場の記述について、前回、駐車場の時間別二毛作的な使い方として、佐世保の事例をご紹介したが、素案では、発災時の一時避難といった防災施設として活用する旨が整理されており非常によい案だと思う。ただ、具体化するにはまだ十分に時間があるので収益面も期待し得るような機能についても考えてみてはどうか。例えば、千葉県香取市の道の駅「水の郷さわら」では、防災教育施設を併設している一方で、営業的にも成功している事例である。</li> <li>・次に、4つの基本方針のうち基本方針2だけが3項目で、あとは5項目である。あと2つ加えて、ほかと同じ5項目にしてはどうかと考えてみた。</li> <li>・今の段階では1つ挙げさせていただきたいのが、「隣接リニア駅との連携」である。神奈川県駅は首都圏内にあつて少しタイプが異なる中間駅かもしれないが、山梨県駅や岐阜県駅との間では、3駅セットでのリニア運賃割引や、県境をまたいでのリニーカー利用の仕組みづくりなど、駅そのものだけでなくソフト面も含めた連携策を考えてみてはどうか。</li> <li>・最後に、地域が目指す姿の「ローカル」「グローバル」は良いと思うが、むしろ「ゲートウェイ」が気になる。耳触りのよい言葉なので他地域でもよく使われてきたが、各所で見直しの機運も高まっている現状がある。</li> <li>・地域の目標は本来、玄関口（ゲートウェイ）ではなく目的地として選ばれること。この地域も単なるゲートウェイで終わって欲しくない。</li> <li>・基本構想の段階ではゲートウェイでも構わないが、計画が具体化していく段階で、その是非も踏まえて再検討してみたいかがか。</li> </ul>
<p>学識経験者</p> <p>瀬田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を具体化していく中で様々な対立が生じるだろうが、それを乗り越えてよい駅を作って欲しい。</li> <li>・先日、国土交通省の広域連携に関する研究発表会があり、知人が「リ</li> </ul>

<p>(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授)</p>	<p>ニア駅周辺土地利用」に関する研究発表をしていた。その中で長野県駅の取り組みについて、広域連携の視点が他駅に比べても先進的でした。しっかりしているとの指摘があった。今日もいくつかの課題が出たが、この先取り組んでいただければ、さらによいものになるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のプロセスとしては市民参加が重要であると考えている。行政としては、市民参加を「義務」としてとらえるのではなく、積極的に取り組むべきである。市民の意見や声を聞き、アイデアを取り込むことで、公共公益施設が使いやすくなるだけでなく、利用増加にもつながる。</li> <li>・交通空間についても、同様に、市民の声を聞き計画に反映させることで、使いやすい駅とすることができるだろう。交通計画というところでも専門家が参画し計画を主導的に立案する面が多くなるが、昨今では、専門家間でも市民参加型の交通計画の良さや必要性がクローズアップされてきている。ぜひ、取り組んでいていただきたい。</li> </ul>
<p>学識経験者  小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は素案をベースにパブリックコメントを実施することになる。</li> <li>・今回の素案では、残された課題も含めてわかりやすく整理されている。今回のご指摘を含め、残された課題については、今後とも着実に具体的に詰めていていただきたい。</li> </ul>

➤ 会議次第「6閉会」

<p>発言者名</p>	<p>発言要旨</p>
<p>学識経験者  小澤委員 (都市づくりパブリックデザインセンター理事長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上をもって、会議を閉じさせていただく。</li> <li>・皆様のご協力感謝申し上げます。</li> </ul>
<p>事務局 (飯田市リニア推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議論を踏まえ、パブリックコメントの準備を進める。</li> <li>・また、本日の会議録については、まとまり次第、委員の皆様には送付させていただきたい。</li> <li>・なお、次回の検討会議については、新年度の開催となることが見込まれる。日程については、調整の上ご連絡することとしたい。</li> </ul>

[20:45 終了]